

2020 年 3 月 9 日

会員並びにクライアント企業の皆様

LT グループ



## 日本から上海への入国状況

2020 年 3 月 3 日、上海市政府より「重点国から上海への入国者に対して一律 14 日間隔離」の通達が出されました。隔離方法としては、上海に住宅がある入国者は自宅隔離、住宅がない入国者は指定施設（現状ホテル）での隔離となります。

日本からの入国者が上海浦東国際空港到着後、実際どのようなになっているか、近日上海へ入国された二名の体験談をご報告します。

### 【3 月 5 日：成田空港から上海浦東国際空港に到着した中国上海人】

1. 5 日 22：50 頃、上海浦東国際空港に到着。
2. 機内で 8 時間以上の待機のうえ、検疫と入国手続きの順番待ちとの説明あり。
3. 6 日朝 7 時頃、機内で体温測定後、降機。
4. 降機後は問診票回収と通関などの手続きを済ませれば、上海に自宅がある人は特に交通移動手段の制限もなく、自由に帰宅できた。
5. タクシーでの帰宅でも可能であった。
6. 一部の人はパスポートを一旦職員に預けたが、その後パスポートは返された。
7. 帰宅後、外出はできないため、食事などの宅配を頼むとマンション管理の職員が届けてくれる。
8. 一日 2 回体温測定を行うことになっており、報告書を行政担当者が回収に来る。

### 【3 月 6 日：名古屋セントレアから上海浦東国際空港に到着した日本人上海駐在員】

1. その方は 2 月中旬、中国新型コロナウイルス感染リスクが高いため、本社に呼び戻され、一旦日本に帰国した。ところが日本も新型コロナの感染が広がり、且つ中国では仕事などもあるため、本社を説得して上海に戻ってきた。
2. 3 月 6 日午後 6 時頃、上海浦東国際空港に到着。
3. 機内で 6 時間ぐらい待機。
4. 夜中 12 時過ぎ、体温測定、問診票回収、入国手続きが開始。
5. 手続き終了は翌朝 1 時半頃になった。
6. 自宅へ戻る際は、社用車については運転手の確認などが実施されたが、社用車及び自家用車がない場合は区政府が手配した車での移動となる。
7. 自宅に戻った後は完全外出不可、一日二回の体温測定を実施、町の公安（日本語できる）からも電話で本人の所在確認があった。

上記は上海空港の入国体験者からヒアリング内容であるが、日本などから中国への入国管理は、この先 2 週間前後、日を追うごとに厳しくなる可能性がある。

また、同じ飛行機機内或いは前後の飛行機に熱、咳がある乗客がいると、さらに厳しい検査などが実施されるため、空港での待機時間がさらに長くなることは間違いない。

上海市を含む中央政府並びに地域政府の対応からは、なりふり構わず、たとえ経済を犠牲にしても新型コロナ肺炎の新規感染を強力に抑え込み、一日も早く世界に向けて新規感染者ゼロ宣告をしたいとの意気込みが感じられる。



SUPPORTING  
CHINA  
BUSINESS

## LT GROUP

3月7日の中国の新型コロナ新規感染者46人に対し、イタリア1332人、イラン1076人、韓国367人、フランス336人、ドイツ161人、米国95人、日本77人、スペイン75人などの状況からみると、中国の封じ込め策は一定の効果が現れてきているものとみられる。



自宅所属の区が空港内で設置した乗車窓口

以 上